



株主の皆様へ

第64期 中間報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のもののづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR/コンプライアンスを経営の中枢においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第64期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア新興国の景気の下振れ懸念や英国におけるEU離脱問題などの影響により先行きに対する不透明な状況が継続しており、節約志向が強い個人消費の回復も振るわず企業収益は足踏み状態で推移しました。

当業界におきましては、金利の低下や政府の住宅取得支援策の拡大等により、住宅取得に対する関心が高まったことから、新設住宅着工戸数は堅調に推移しました。

このような状況の中で、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用関連会社)は、木材関連事業におきましては、国内市場においては、引き続き主要製品のシェア拡大、新製品・重点拡販製品の積極的なPR活動やリフォーム・非住宅市場への参入を推進いたしました結果、国内売上高は堅調に推移しました。またフランス子会社においては現地の展示会への積極的な出展やフランス国外の市場開拓に向けた営業人員の拡充等、販売体制の強化を中心に努めてまいりましたが利益率の改善には至らないままに推移しました。電線関連事業におきましては、引き続き地方における電材業界に寄与する物件の新設が低迷していることから、経営環境は厳しい状況下におかれているなか、各拠点において大手サブコンへの積極的な提案活動、セールスマックスの見直しによる収益力の改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,098百万円(前年同四半期比4.7%増)、営業利益は17百万円(前年同四半期は営業損失140百万円)、経常損失は753百万円(前年同四半期は経常損失102百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は678百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失130百万円)となりました。

当社グループといたしましては、今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応し、グループの目標達成に向けて全社員一丸となって取り組んでいられる所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

+++ INNOVATION NEWS

提案営業センターをリニューアル。
収納生活のための新しいアイデアが満載です。



2016.10
RENEWAL

OPEN 365日。収納生活。

キッチンブース：キッチン収納「フリモ」他



ワンルームマンションブース：クロゼットシステム「ノエル3」他

Kitchen Booth

キッチン周辺の生活動線収納

家事動線を考えた収納プランや、キッチン周辺での動線を意識した「ミセスコーナー」や「ファミリーカウンター」を展示しています。

【展示製品】

キッチン収納 フリモ／ダイニング収納 インディニ4／インテリアロングボード リピラス／ニッチ収納 リブニッチ／リネン庫／ランバーシリーズ 他



ミセスコーナー



ファミリーカウンター

Sanitary Booth

サニタリー周辺の生活動線収納

外出・帰宅動線を効率化する「リネン庫」や「ファミリークローク」を展示しています。

【展示製品】

リネン庫／アートランバー＋アームハング棚柱セット



ファミリークローク

OneRoom Mansion Booth

1Kマンションの生活動線収納

独り暮らしをサポートする1K用の「適材適所収納アイデア」を数多く展示しています。

【展示製品】

アートランバー＋アームハング棚柱／トイレ上部収納／ランドリー可動棚／壁厚サニタリー収納 サニタ／クロゼットシステム ノエル3／化粧用下地壁／ニッチ収納 リブニッチ／アームハング棚柱SS 他



1K収納

NEW

2016年10月リリース

**アームハング棚柱SSをニューリリース。
新しいエントランス収納が誕生しました。**



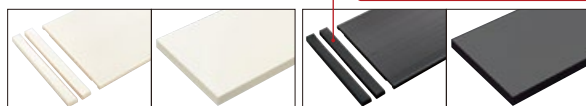
Entrance Storage

[アームハング棚柱SS 玄関収納システム]

棚柱カラー



棚板カラー



樹脂棚板:シェルホワイト 木質棚板:シェルホワイト 樹脂棚板:ダークグレー 木質棚板:ダークグレー

**市場拡大するエントランス収納。
南海プライウッドは、
新しいスタイルを提案します。**

好調販売を持続する従来品アームハング棚柱に、顧客満足度を高める新しい機能と魅力を加え、さらなる拡販・シェア拡大を図ります。

[製品特長]

- 新発想。ネジ止め不要のエンドキャップは特許出願中。
- 新発想。シューズよこ置きD2タイプもラインナップ。
- 従来品よりもサビに強く、耐食性に優れた安心の品質仕様。
- 安心に配慮した棚受抜け止めロック機能を採用。

NEW

2016年11月リリース

木目調柄2色を追加設定。
上質感が増す [エノーク2] をリリース。



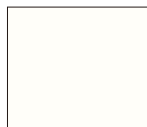
新色アッシュウォールナットのシューズクロックプラン

SHOES CLOAK SYSTEM

wallzet ENOAK 2

シューズクロックシステム

[ウォールゼット エノーク2]



シェルホワイト



ブライトウォールナット



アッシュウォールナット

上質さを求める市場ニーズに応え、
新色導入でシェア拡大を目指します。

旧エノークの基本収納性能はそのままに。
新たなカラーリングによるデザイン性の向上を図りました。
時代に合わせ進化する南海の収納戦略です。

[リニューアルポイント]

- 温かみのある「ブライトウォールナット」「アッシュウォールナット」を追加導入。
クロゼットシステム「ノエル3」とロングセラー製品「アートランバー」と同色展開に。
家中の収納をトータルにコーディネートできる新価値が生まれました。
- 省スペースを可能にする「シューズよこ置き・D2タイプ」を導入。
- コストダウンを実現にする「ショート側板」「900mm樹脂棚板」を導入。

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成28年9月30日)
■資産の部		
流動資産	11,797	11,903
現金及び預金	1,998	2,684
受取手形及び売掛金	3,526	3,635
電子記録債権	1,338	1,363
商品及び製品	977	952
仕掛品	992	885
原材料及び貯蔵品	2,322	1,823
繰延税金資産	190	131
その他	456	431
貸倒引当金	△5	△4
固定資産	9,374	9,302
有形固定資産	6,926	6,792
建物及び構築物	1,290	1,315
機械装置及び運搬具	1,483	1,360
工具器具備品	34	39
土地	4,020	3,971
建設仮勘定	64	76
その他	32	28
無形固定資産	192	125
投資その他の資産	2,254	2,384
投資有価証券	620	613
長期貸付金	165	155
繰延税金資産	27	194
投資不動産	1,052	1,027
その他	394	400
貸倒引当金	△6	△6
資産合計	21,171	21,206

	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成28年9月30日)
■負債の部		
流動負債	3,381	4,465
支払手形及び買掛金	891	807
短期借入金	1,240	1,855
未払金	413	407
未払費用	136	107
未払法人税等	25	71
未払消費税等	109	119
賞与引当金	164	148
デリバティブ債務	310	838
その他	89	109
固定負債	809	955
長期借入金	211	490
繰延税金負債	55	21
役員退職慰労引当金	9	9
退職給付に係る負債	192	195
デリバティブ債務	305	208
その他	35	31
負債合計	4,190	5,421
■純資産の部		
株主資本	16,594	15,837
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	12,741	11,985
自己株式	△134	△134
その他の包括利益累計額	386	△52
その他有価証券評価差額金	45	40
為替換算調整勘定	377	△72
退職給付に係る調整累計額	△35	△21
純資産合計	16,981	15,784
負債純資産合計	21,171	21,206

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日
売上高	7,734	8,098
売上原価	5,739	5,946
売上総利益	1,994	2,152
販売費及び一般管理費	2,135	2,134
営業利益又は営業損失(△)	△140	17
営業外収益	253	114
営業外費用	215	886
経常損失(△)	△102	△753
特別利益	23	20
特別損失	13	17
税金等調整前四半期純損失(△)	△91	△751
法人税等	38	△72
四半期純損失(△)	△130	△678

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

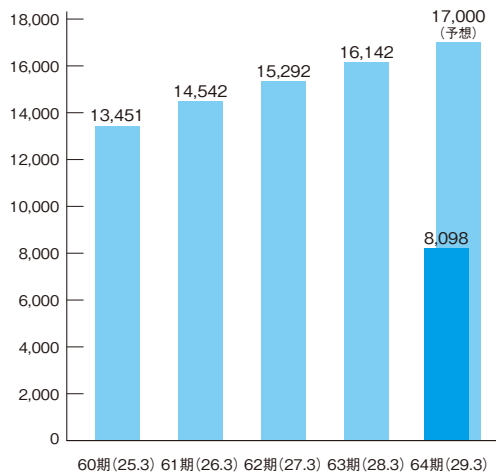
	前第2四半期 連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	631	393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227	△526
財務活動によるキャッシュ・フロー	96	818
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	△303
現金及び現金同等物の増減額	522	382
現金及び現金同等物の期首残高	1,394	1,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,917	2,381

■損益ポイント

1. 売上高は前連結会計年度と比べて4.7ポイント増加しました。
2. 為替差損、デリバティブ評価損の計上により営業外費用が大幅に増加し、経常損失を計上しました。

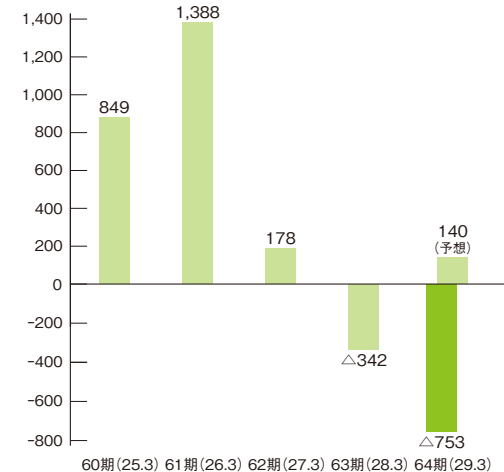
▽売上高の推移

(単位:百万円)



▽経常利益の推移

(単位:百万円)



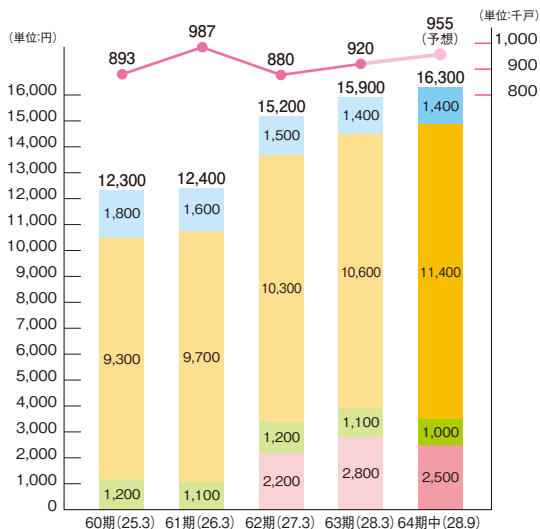
当第2四半期累計期間の概況

木材関連事業におきましては、国内市場においては、引き続き主要製品のシェア拡大、新製品・重点取扱製品の積極的なPR活動やリフォーム・非住宅市場への参入を推進いたしました結果、国内売上高は堅調に推移しました。またフランス子会社においては現地の展示会への積極的な出展やフランス国外の市場開拓に向けた営業人員の拡充等、販売体制の強化を中心に努めてまいりましたが利益率の改善には至らないままに推移しました。

電線関連事業におきましては、引き続き地方における電材業界に寄与する物件の新設が低迷していることから、経営環境は厳しい状況下におかれているなか、各拠点において大手サブコンへの積極的な提案活動、セールスマックスの見直しによる収益力の改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,098百万円(前年同四半期比4.7%増)、営業利益は17百万円(前年同四半期は営業損失140百万円)、経常損失は753百万円(前年同四半期は経常損失102百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は678百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失130百万円)となりました。

▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



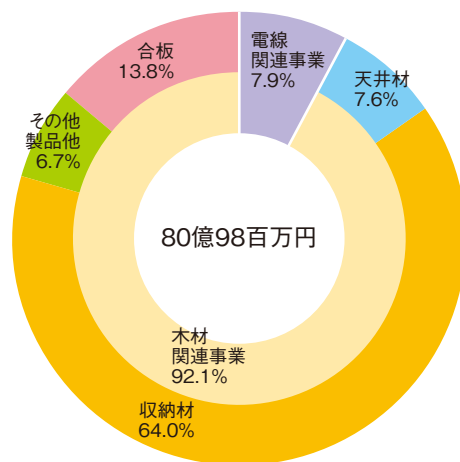
注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

通期の見通し

国内市場では為替相場の変動により利益が大きく左右される側面が強い状況ではありますが、売上高が堅調に推移する見込みであり、さらに海外市場におけるフランス子会社でフランス国外の市場開拓に向けた営業人員の拡充等や現地の展示会への積極的な出展などの販売体制の強化に加え、第2四半期累計期間までの業績の動向を加味して、通期予想を修正しております。

通期の業績予想は、連結売上高17,000百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益580百万円(前年同期は営業損失12百万円)、経常利益140百万円(前年同期は経常損失342百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益50百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失341百万円)になるものと予想しております。

▼セグメント別の連結売上高構成



株式の状況

(平成28年9月30日現在)

総数

発行可能株式総数 20,000,000株

発行済株式の総数 10,095,800株

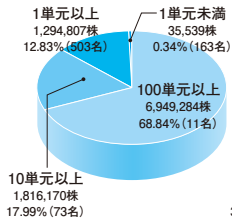
株主数 750名(前年度末比5名減)

大株主

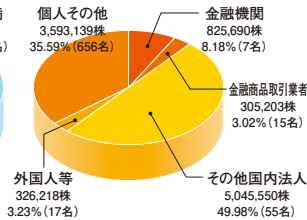
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,753千株	28.45%
公益財団法人南海育英会	1,554	16.06
丸山修	492	5.08
株式会社百十四銀行	467	4.83
小林茂	301	3.11
株式会社愛媛銀行	243	2.51
四国興業株式会社	232	2.40
楽天証券株式会社	211	2.18
INTERACTIVE BROKERS LLC	138	1.43
南海プライウッド従業員持株会	134	1.38

(注)当社は自己株式420,312株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

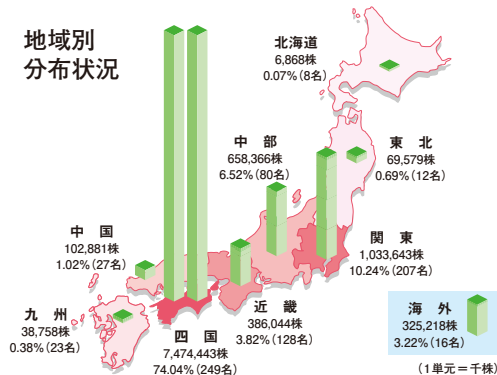
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成28年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億21百万円
 従業員数 379名(連結1,468名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町保税倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成28年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	監査役	大川 俊徳
取締役・上席執行役員	丸山 宏	監査役	岩部 達雄
取締役・上席執行役員	藤本 英二	執行役員	小野 彰三
取締役・上席執行役員	大川 正仁	執行役員	蓮井 孝治
取締役・上席執行役員	浮田 貴仁	執行役員	松浦 義博
取締役(社外)	村田 剛	執行役員	渡邊 浩平
常勤監査役	秋山 二郎	執行役員	清水 広志

連結子会社

(平成28年9月30日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
 PT.NANKAI INDONESIA
 NP ROLPIN SAS

電線関連事業 ナンリツ株式会社

持分法適用関連会社

(平成28年9月30日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 / 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 / 定時株主総会の議決権 3月31日
 - 期末配当 3月31日
 - 中間配当 9月30日※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 / 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 / 東京証券取引所 市場第二部(証券コード 7887)
- 単元株式数 / 1,000株
- 株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
【郵便物送付先 / 各種お問合せ先】
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)
〔受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕



南海プライウッド株式会社